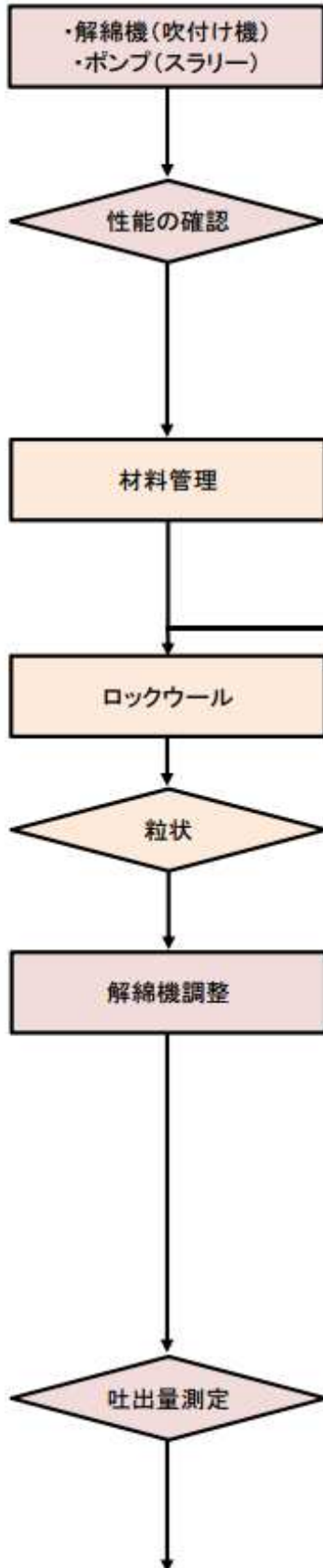


検査実施要綱

・検査指導の流れ



・機械管理

	点検基準方法	管理項目
解綿機	・集綿袋へ30秒間吹き込み、吐出量の測定を行う ・測定値:4kg/min以上とする	・点検基準を満たすまで繰返し行う
ポンプ (スラリー量)	・バケツ等へ30秒間吐出させ、吐出量の測定を行う ・測定値:6ℓ/min以上とする (水換算8ℓ/min以上)	・点検基準を満たすまで繰返し行う

・材料管理

点検基準	管理項目
・綿は不燃材料の認定品でJIS規格に適合の事 ・セメントはJIS規格に適合の事	・目視で認定番号、規格番号の記載を確認する ・荷積みの確認 (荷姿、高さ:2M未満)

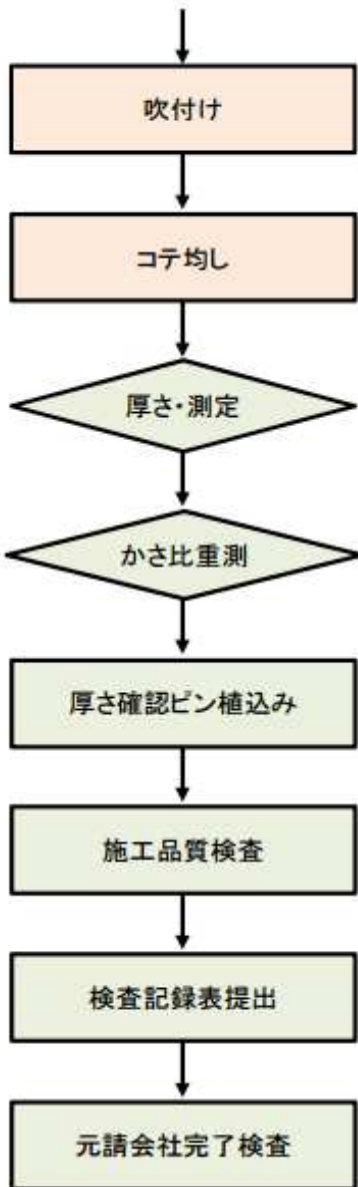
・スラリー濃度管理

点検基準	・セメント25kg:水50ℓ ・スラリー濃度33%
管理項目	・水量の確認 ・水50ℓの計量を必ず行う (バケツ・ペール缶等でチェック)

・配合管理

点検基準	・ロックウール 1kg ・セメントスラリー 1.5ℓ(約2kg)
管理項目	・セメント1袋(25kg/袋)でロックウール2袋(20kg/袋)以下の使用量を確認する
早見表の吹付け配合目安表(現場管理)	

ここまでで規格通りの配合となり
吹付け前までの件さ実施項目となる



・吹付け作業

点検基準	・吹付けは厚みのばらつきの無いよう所定の厚さ以上に吹付ける
管理項目	・都度厚さ測定治具で確認をしながら吹付ける事

・コテ均し作業

点検作業	・専用コテでしっかりと押える
管理項目	・毛羽立ちや大きな凹凸がない事を確認する

・厚さ測定管理

点検基準	・コテ均し直後に必ず厚みをチェックする
管理項目	・クレーターの底でも厚みを確保していることを確認する ・厚さ不足の場合は吹き増しをし厚さを確保する

・かさ比重測定管理

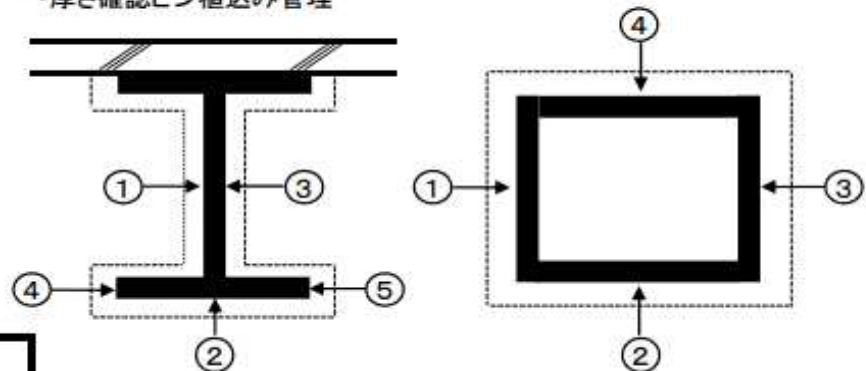
(未乾燥状態管理 : 4時間内かさ比重検査)

点検基準	・厚さを測定する ・専用抜き取り器で切り取る ・4時間内比重早見表により比重を確認する
管理項目	・上記基準を満たさない場合は手直しをする

(乾燥状態管理 : 絶乾かさ比重検査)

点検基準	・厚さを測定する ・専用抜き取り器で切り取る ・乾燥器で湿度が恒量になるまで乾燥させる (100~110℃で約24時間乾燥) 重量を測定し比重を算出する
------	--

・厚さ確認ピン植込み管理



検査記録は
「施工管理担当者」
が必ず行う事

【厚さ確認ピンの配色】

1時間耐火	2時間耐火	3時間耐火	
梁・柱	梁・柱	梁	柱
青	緑	赤	ベージュ

厚さ確認ピンは必ず上記 図のように植え込む事